

2013年度(2014年3月期) 第2四半期決算説明会資料

2013年11月6日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp>
(営業情報 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp>)

目 次

I . 2013年度(2014年3月期) 第2四半期決算実績		2
II . 参考資料		30

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。
実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

I . 2013年度(2014年3月期) 第2四半期決算実績

	2013年度2Q末	2012年度末	増減
連結子会社	99社	100社	増加：1社 減少：2社
持分法適用関連会社	11社	10社	増加：1社
計	110社	110社	

阪急阪神交通社ホールディングス
ブックファースト

アールワークス

日経カルチャー

2013年度第2四半期決算 連結損益比較表(サマリー)

(単位：百万円)

科 目	2013年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	比較増減	増減率	備考
営業収益	349,566	335,869	+13,697	+4.1%	次ページ参照
営業利益	61,608	54,731	+6,876	+12.6%	
うち、減価償却費	26,676	26,355	+320	—	
営業外収益	4,257	4,506	△249	—	
うち、受取利息 及び配当金(A)	814	751	+63	—	
営業外費用	9,176	10,386	△1,210	—	
うち、支払利息(B)	8,500	9,626	△1,126	—	
うち、金融収支(A-B)	△7,685	△8,875	+1,189	—	
経常利益	56,689	48,851	+7,838	+16.0%	
特別利益	8,927	309	+8,617	—	固定資産売却益+8,120
特別損失	1,345	3,827	△2,481	—	事業整理損失引当金繰入額△2,135
四半期純利益	39,646	28,173	+11,472	+40.7%	

セグメント別営業成績(サマリー)

(単位：百万円)

	都市交通	不動産	エンタテインメント・コミュニケーション	旅行	国際輸送	ホテル	その他	調整額	連結
営業収益									
2013年度2Q累計	116,083	113,146	58,242	17,805	18,291	31,277	12,128	△17,409	349,566
2012年度2Q累計	124,329	90,767	54,594	20,154	18,329	31,513	12,821	△16,640	335,869
差 引	△8,246	+22,379	+3,647	△2,348	△37	△236	△692	△768	+13,697
営業利益									
2013年度2Q累計	21,331	26,593	12,682	1,520	844	233	△6	△1,590	61,608
2012年度2Q累計	20,835	19,460	10,366	4,474	1,236	△242	△283	△1,115	54,731
差 引	+496	+7,132	+2,315	△2,954	△392	+476	+277	△475	+6,876

都市交通事業において書店事業を外部化したことや、旅行事業において中国・韓国方面の集客が減少していること等による影響があるものの、不動産事業においてマンション分譲戸数が増加したことに加えて、エンタテインメント・コミュニケーション事業においてスポーツ事業が好調に推移したこと等により、連結全体で増収となった。

主に左記増収要因等により、増益となった。

※2013年度1Qより、報告セグメントを従来の「都市交通」、「不動産」、「エンタテインメント・コミュニケーション」、「旅行・国際輸送」、「ホテル」及び「流通」の6区分から、「都市交通」、「不動産」、「エンタテインメント・コミュニケーション」、「旅行」、「国際輸送」及び「ホテル」の6区分に変更している。
なお、比較期である2012年度2Qのセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成している。

(単位：百万円)

	2013年度2Q累計	2012年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	116,083	124,329	△8,246	△6.6%
営業利益	21,331	20,835	+496	+2.4%

(鉄道)：阪急百貨店うめだ本店及びグランフロント大阪の開業による影響や沿線人口の増加等により阪急線・阪神線ともに増収となるものの、動力費や修繕費が増加すること等により増収・減益

阪急運輸収入の増収： +679 [前年同期比+1.5%(定期・定期外合計)]

阪神運輸収入の増収： +358 [前年同期比+2.3%(定期・定期外合計)]

* 以上、全て第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計

(自動車)：バス事業において空港路線の利用が増加したこと等により増収・増益

都市交通事業全体では、流通事業において書店事業を外部化したこと等により減収となったものの、主に上記の要因により増益

2013年度2Q累計(業態別内訳)	営業収益	前年同期比較
鉄道事業	727億円	+9億円
自動車事業	239億円	+2億円
流通事業	165億円	△94億円
広告事業	32億円	+2億円
都市交通その他事業	38億円	+1億円

※別途、本社費・調整額あり

《都市交通》 鉄道運輸成績

《阪急電鉄》

	収 入				人 員			
	2013年度2Q累計 百万円	2012年度2Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率	2013年度2Q累計 千人	2012年度2Q累計 千人	比較増減 千人	増減率
定期外	30,486	30,129	+ 357	+ 1.2%	155,071	153,404	+ 1,667	+ 1.1%
定期	15,768	15,446	+ 321	+ 2.1%	160,699	157,639	+ 3,059	+ 1.9%
うち通勤	13,412	13,128	+ 283	+ 2.2%	109,253	106,955	+ 2,298	+ 2.1%
うち通学	2,355	2,317	+ 38	+ 1.6%	51,446	50,684	+ 761	+ 1.5%
合計	46,254	45,575	+ 679	+ 1.5%	315,771	311,044	+ 4,726	+ 1.5%

《阪神電気鉄道》

	収 入				人 員			
	2013年度2Q累計 百万円	2012年度2Q累計 百万円	比較増減 百万円	増減率	2013年度2Q累計 千人	2012年度2Q累計 千人	比較増減 千人	増減率
定期外	10,409	10,136	+ 272	+ 2.7%	57,359	56,676	+ 683	+ 1.2%
定期	5,529	5,442	+ 86	+ 1.6%	57,325	56,323	+ 1,001	+ 1.8%
うち通勤	4,930	4,851	+ 79	+ 1.6%	44,994	44,200	+ 793	+ 1.8%
うち通学	598	591	+ 7	+ 1.2%	12,330	12,122	+ 207	+ 1.7%
合計	15,938	15,579	+ 358	+ 2.3%	114,684	112,999	+ 1,684	+ 1.5%

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示している。
2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいる。
3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計である。

《阪急電鉄》

運輸収入(第1種・第2種合計)

(単位:百万円)

定期・定期外合計	1Q	2Q	上半期 合計
2013年度実績	23,471	22,783	46,254
2012年度実績	23,141	22,434	45,575
増減	+329	+349	+679
増減率	+1.4%	+1.6%	+1.5%

対前年同期比の増減要因(推定)

- ・阪急百貨店うめだ本店グランドオープン及び
グランフロント大阪開業の影響 +590百万円
- ・その他 +89百万円

《阪神電気鉄道》

運輸収入(第1種・第2種合計)

(単位:百万円)

定期・定期外合計	1Q	2Q	上半期 合計
2013年度実績	7,885	8,052	15,938
2012年度実績	7,759	7,820	15,579
増減	+126	+232	+358
増減率	+1.6%	+3.0%	+2.3%

対前年同期比の増減要因(推定)

- ・プロ野球(甲子園)来場者数増 +51百万円
- ・イオンモール大阪ドームシティ開業による増 +50百万円
- ・阪急百貨店うめだ本店グランドオープン及び
グランフロント大阪開業の影響 +24百万円
- ・兵庫県立美術館入館者数増 +15百万円
- ・その他 +218百万円

旅客人員(第1種・第2種合計)

定期外旅客人員 対前年同期比 +1.1%
定期旅客人員 対前年同期比 +1.9%

旅客人員(第1種・第2種合計)

定期外旅客人員 対前年同期比 +1.2%
定期旅客人員 対前年同期比 +1.8%

《都市交通》 阪急京都線新駅計画・西山天王山駅

【経緯】

2008年8月 長岡京市との間で新駅設置と都市基盤施設整備内容(駅広、駐車・駐輪場等)に関し合意
2010年6月 鉄道事業基本計画変更許可
2011年3月 鉄道施設変更認可
現在工事中

【概要】

場所 大山崎駅～長岡天神駅間
大山崎駅より約2.5km
長岡天神駅より約1.5km
京都第二外環状道路交差部付近
駅設備 地平駅舎 相対式ホーム2面
構内連絡地下通路
改札口2箇所 EV2基 ES4基 等

※ 2013年12月21日開業予定

【駅舎イメージ】



■新駅設置の効果■

沿線自治体等のまちづくりとの連携
高速道路との交通結節機能の活用
⇒乗降人員増加と沿線価値の
更なる向上を期待

■背景・目的

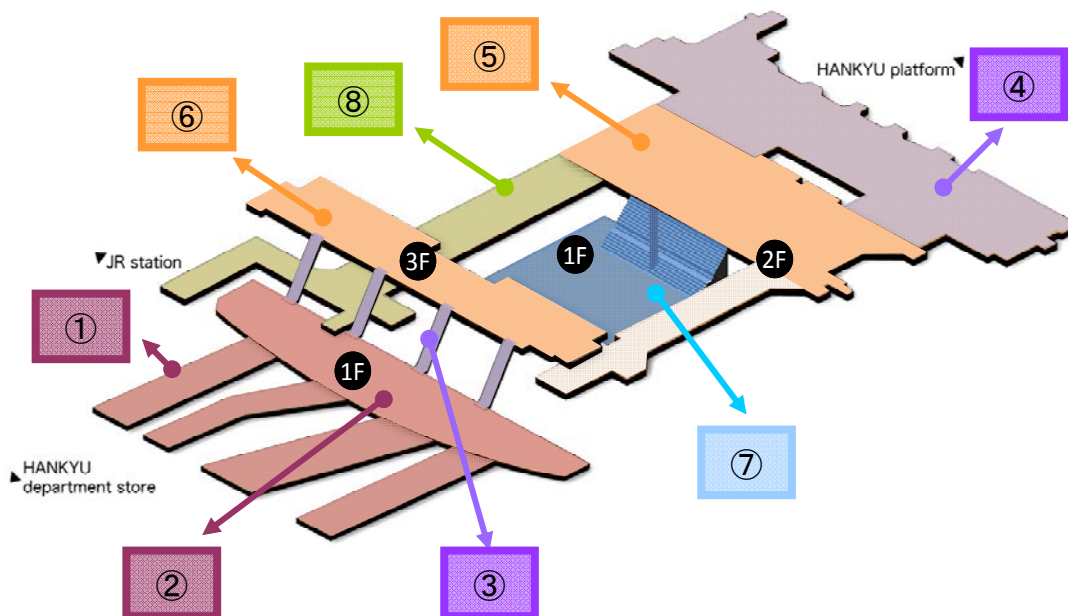
- ・ 現在の阪急梅田駅は、1973年11月の竣工以来、約40年が経過。
- ・ 阪急梅田駅を、梅田阪急ビルの建替えやグランフロント大阪等、再開発が進む大阪梅田地区の「顔」にふさわしい、洗練された統一感溢れるエリアとする。

■工事内容

- ・ 内装の更新(美装化)… 空間デザインコンセプト
“劇場空間 阪急スタイル”
- ・ LED照明による省エネルギー化と温かみのある空間演出
- ・ サイン・広告物の整理によるわかりやすい空間づくり
- ・ 5つのイメージからなる空間に生まれ変わる。



▲1～2階・BIGMAN前広場(STAGE)のイメージ



APPROACH	①JR高架下通路	②1階東西方面通路
GATE	③1階～3階階段、エスカレーター	④2階中央改札内コンコース
LOBBY	⑤2階中央改札外コンコース	⑥3階改札外コンコース
STAGE	⑦1階～2階 BIGMAN前広場	
GALLERIA	⑧2階JR大阪駅方面連絡通路	

■工事期間

- ・ JR高架下通路は2012年秋に供用開始済
- ・ 2014年度末(2015年3月)に全面工事竣工(予定)

■総事業費

- ・ 約36億円(先行するJR高架下通路を含む)

(単位：百万円)

	2013年度2Q累計	2012年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	113,146	90,767	+22,379	+24.7%
営業利益	26,593	19,460	+7,132	+36.7%

(賃貸)：梅田阪急ビル 百貨店グランドオープンに加え、オフィスタワーの稼働率向上等により増収・増益

(分譲・その他)：マンション分譲戸数の増加(+230戸：前第2四半期694戸→当第2四半期924戸※)等により増収・増益

※ 阪急不動産・阪急電鉄の持分戸数合計

2013年度2Q累計(業態別内訳)	営業収益	前年同期比較
賃貸事業	500億円	+53億円
分譲・その他事業	708億円	+188億円

※別途、本社費・調整額あり

■工事着手に向けて、行政及び関係先との協議を着実に推進

■開発計画の概要

- 都市再生特別措置法に基づく特定都市再生緊急整備地域における道路上空建築の規制緩和を日本で初めて活用し、2つの敷地を隔てる道路の上空を利用したビルの建替えを行う。併せて、周辺公共施設整備を一体的に行うことで、快適で質の高いまちづくりを推進。
- 計画ビル内には百貨店ゾーンとオフィスゾーンのほか、梅田地区におけるビジネス活動の活性化に資するカンファレンスゾーンを整備し、災害時には帰宅困難者の一時滞留スペースとしても活用。
- 計画ビル周辺では、地下道拡幅をはじめ、地上・デッキレベルを含む3層歩行者ネットワークの強化により、歩行者空間の快適性・利便性向上を図り、周辺地域の活性化や都市の再生に貢献。

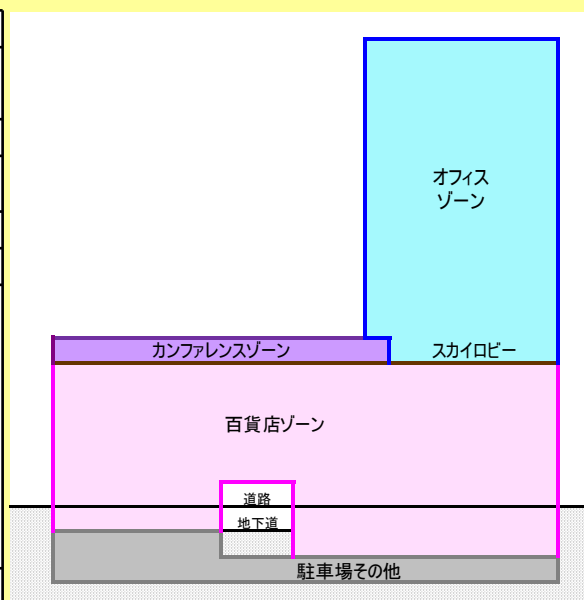
■スケジュール

- 今後も行政及び関係先と引き続き協議を行い、2023年の竣工を目指す。

[計画ビル概要]

所在地	大阪市北区梅田1丁目1番 他
敷地面積	約12,100㎡ (両敷地間の道路上空利用部分含む)
指定容積率	2000%
延床面積	約257,000㎡
階数	地下4階、地上38階
高さ	約190m
施設構成	百貨店ゾーン(地下2階～地上9階) 延床面積 約100,000㎡ オフィスゾーン(地上11階～38階) 延床面積 約133,000㎡ カンファレンスゾーン(地上11階) 延床面積 約3,000㎡ その他(駐車場、共用通路等) 延床面積 約21,000㎡
竣工	2023年(予定)

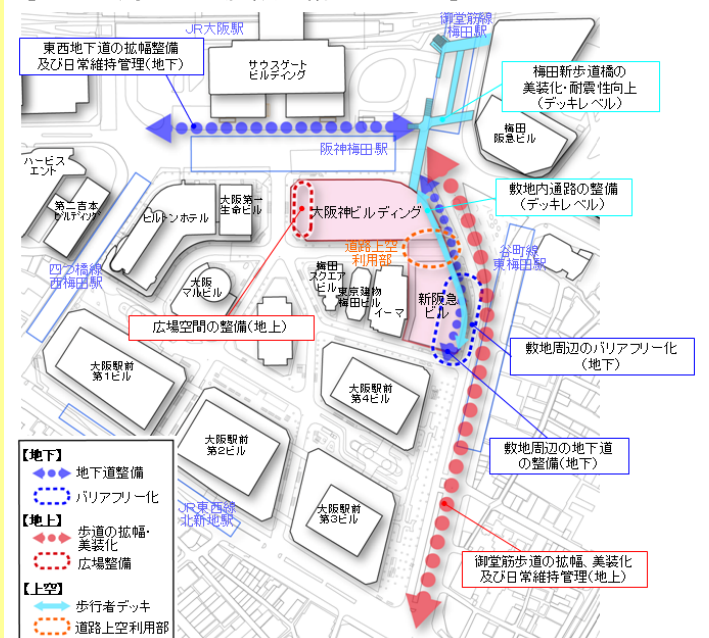
[用途構成イメージ図]



[完成イメージパース]



[計画地周辺公共施設整備イメージ図]



■2013年4月まちびらき、商業施設の来場者数・売上は計画に対して好調に推移

■コンセプト

まちの開発ビジョン＝「多様な人々や感動との出会いが新しいアイデアを育むまち」

- ・7haに及ぶ開発区域において、街の中核機能「ナレッジキャピタル」を中心に、オフィス、商業施設、ホテル・サービスレジデンス、分譲住宅などの多様な都市機能を複合。
- ・約1haのうめきた広場を設けるほか、豊富な水景・緑化空間を整備し、風格と界隈性を兼ね備えた「空間」を形成。

■開業後の状況

- ・9月末時点で、「ナレッジキャピタル」「ショップ＆レストラン」等を含むグランフロント大阪施設全体で約2,700万人のお客様が来場。
- ・商業施設「ショップ＆レストラン」の売上は、約5ヶ月にあたる9月末時点で既に200億円を突破しており、商業施設分として掲げている初年度の目標（来場者2,500万人・売上高400億円）に対して好調に推移。
- ・オフィスは、至便な立地条件に加え、関西最大級のフロア面積、最新の自然換気システムや耐震性能を兼ね備えた高規格のオフィスとして、高い評価をいただいております、順次入居が進捗。
- ・分譲マンションは、高価格帯中心の物件にもかかわらず、全525戸が完売のうえ、引渡も完了。
- ・インターコンチネンタルホテル大阪6月開業。

〔建物外観・施設概要〕



施設名称	グランフロント大阪「GRAND FRONT OSAKA」				
建物	オーナーズタワー	北館(タワーC)(タワーB)		南館(タワーA)	うめきた広場
階数	地上48階、地下1階	地上33階、地下3階	地上38階、地下3階	地上38階、地下3階	地上2階、地下2階
敷地面積	約4,666㎡	約22,680㎡		約10,571㎡	約10,000㎡
延床面積	約73,800㎡	約295,100㎡		約187,800㎡	-
主要用途	分譲住宅 525戸	オフィス、ホテル・ サービスレジデンス (低層部)商業施設、ナレッジキャピタル	オフィス	オフィス 商業施設	広場 商業施設

〔オフィス(スカイロビー)〕



〔ショップ＆レストラン〕



〔ナレッジキャピタル〕



■2013年度計画に対して順調に販売が進捗、市況動向を注視しながら弾力的に供給戸数を設定

■ 事業方針

- ・安定的な利益計上に向け、候補物件を厳選しながら用地取得を推進。
- ・顧客ニーズをより重視した商品企画に努め、製・販・管の一貫体制により高品質を維持。

■ 地域戦略

- 【近畿圏】 阪急・阪神沿線及びその周辺。
- 【首都圏】 都心・城南・城西（東急沿線など）及びその周辺。

■ 分譲戸数(持分戸数)

- ・2013年度は約1,400戸の引渡を予定(戸数は持分戸数)。

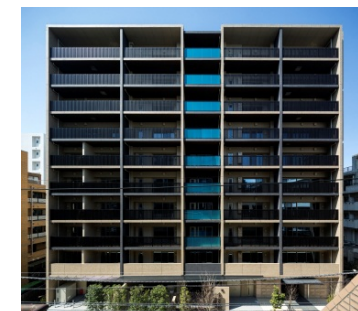


ジオタワー天六
2013年8月竣工
(完売)



ジオタワー高槻
ミュージズガーデン
2014年12月竣工予定

「グッドデザイン賞」
4年連続受賞
2013年度受賞プロジェクト



ジオ三鷹(東京都三鷹市)
2013年3月竣工(完売)

2013年度 主な竣工物件(近畿圏・首都圏毎に物件総戸数順)

物件名	物件所在地	物件総戸数
グランフロント大阪オーナーズタワー※	大阪府大阪市	525戸
ジオタワー天六	大阪府大阪市	400戸
ジオ西宮北口ガーデンズ(北工区)※	兵庫県西宮市	254戸
ジオ高槻ミュージズEX	大阪府高槻市	172戸
ジオ阪急川西ステーションフロント	兵庫県川西市	44戸
ジオグランデ夙川相生町	兵庫県西宮市	43戸
ジオ御所南 河原町二条	京都府京都市	26戸
ジオ桜新町クラッシィ※	東京都世田谷区	73戸
ジオ四谷坂町	東京都新宿区	46戸
ジオ門前仲町 冬木	東京都江東区	45戸

※他社との共同事業物件

2014年度 主な竣工予定物件(近畿圏・首都圏毎に物件総戸数順)

物件名	物件所在地	物件総戸数
ジオタワー高槻ミュージズガーデン※	大阪府高槻市	477戸
ジオ新町※	大阪府大阪市	382戸
ジオ西宮北口ガーデンズ(南工区)※	兵庫県西宮市	160戸
ジオ釣鐘町	大阪府大阪市	123戸
ジオ阪急川西レジデンスマーク	兵庫県川西市	104戸
ジオ烏丸五条	京都府京都市	60戸
ジオ池田城南一丁目	大阪府池田市	56戸
ジオグランデ芦屋	兵庫県芦屋市	16戸
ジオ勝どき	東京都中央区	68戸
ジオ上野毛	東京都世田谷区	41戸
ジオ代官山	東京都目黒区	21戸

(単位：百万円)

	2013年度2Q累計	2012年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	58,242	54,594	+3,647	+6.7%
営業利益	12,682	10,366	+2,315	+22.3%

(スポーツ)：阪神タイガースの公式戦主催試合数が増加(+2試合：前第2四半期68試合→当第2四半期70試合)したことに加え、タイガースグッズの販売が好調に推移したことや、減価償却費の減少等により増収・増益
 (ステージ)：雪組トップスターお披露目公演「ベルサイユのばら-フェルゼン編-」や星組公演「ロミオとジュリエット」が好評を博したことや、演劇事業における主催・共催公演の増加等により増収・増益
 (コミュニケーション・メディアその他)：(株)アールワークスの新規連結などにより増収・増益

2013年度2Q累計(業態別内訳)	営業収益	前年同期比較
スポーツ事業	223億円	+18億円
ステージ事業	166億円	+7億円
コミュニケーション・メディアその他事業	196億円	+10億円

※別途、本社費・調整額あり

(単位：百万円)

	2013年度2Q累計	2012年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	17,805	20,154	△2,348	△11.7%
営業利益	1,520	4,474	△2,954	△66.0%

国内旅行は堅調に推移したものの、海外旅行において、前年の秋口以降、中国・韓国方面の集客が減少していること等により減収・減益

【旅行事業 2013年度第2四半期の概況】

◆海外旅行 業界 第 3 位 (注)

取扱高 1,262 億円 (前期比 Δ 15.4%)

◆国内旅行 業界 第 6 位 (注)

取扱高 743 億円 (前期比 $+$ 11.6%)

◆総取扱高 業界 第 3 位 (注)

取扱高 2,008 億円 (前期比 Δ 7.0%)

※(注)取扱高は、4月-9月までの合計値。業界順位は、4月-8月までの合計値による順位。

観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」より

【海外旅行】

円安により割高感が強まる中、当社主軸のヨーロッパ方面は、中東情勢の悪化によるエジプト方面のツアー中止やトルコ方面への旅行者数の減少の影響を受けながらも、堅調に推移。一方で、中国・韓国方面への旅行者数は依然として低迷。

【国内旅行】

伊勢神宮・出雲大社の遷宮により好調に推移。また、世界遺産に登録された富士山に関するツアーをはじめ、時機をとらえた商品ラインナップの充実を図るなど、一層の集客に努めている。

【阪急交通社旅行ブランド】

行きたい旅、見つかる。



見つけた! 私だけの旅



旅。あなたにふさわしく



ともに、感動。深まる。



「思いどおりの旅」という贅沢を。



出雲大社



伊勢神宮

(単位：百万円)

	2013年度2Q累計	2012年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	18,291	18,329	△37	△0.2%
営業利益	844	1,236	△392	△31.7%

前年からの為替変動の影響が海外法人の業績を押し上げたものの、欧州経済の停滞や中国における日系企業の輸出入の減少、前年にタイにおいて特需があったこと等により減収・減益

【国際輸送事業 2013年度第2四半期の概況】

◆売上高※1 373億円（前期比 △9.8%）※2

日本 200億円（前期比 △1.6%）

海外 174億円（前期比 △17.7%）※3

※1. 輸出運賃原価相当分を含む

※2. 国内法人（2013年4月～2013年9月）と海外法人（2013年1月～6月）の単純合計

※3. 海外法人は13年6月末の為替レートで換算

【概況】

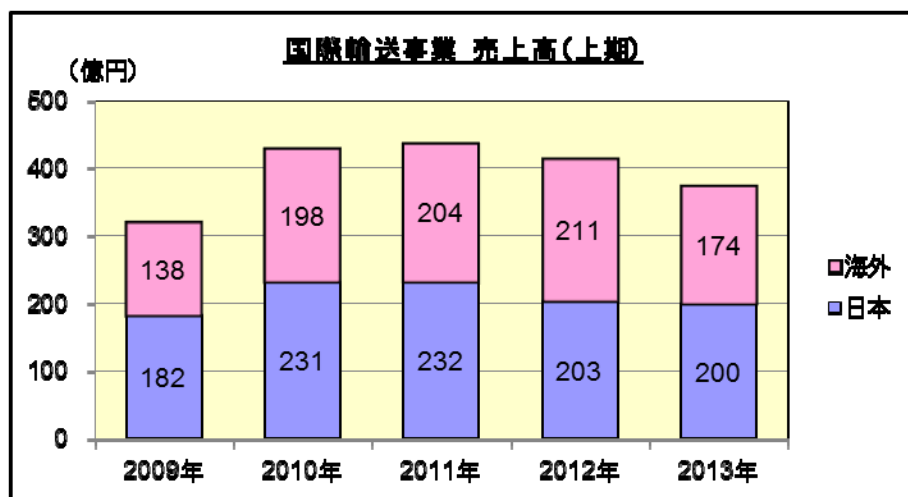
貨物需要は緩やかな回復基調にあるものの、欧州経済の停滞や中国における日本企業の輸出入低迷などを背景に依然として力強さに欠け、厳しい環境で推移。

【日本】

海上輸出入は堅調に推移、航空輸出も回復基調だが、航空輸入は低調。前年実績に及ばず。

【海外】

前年にタイにおいて特需があったことや中国における物流需要の低迷等により前年より減少。



【国際輸送事業の取り組み】

新興市場におけるネットワーク拡大

◆ミャンマー現地法人設立（2013年8月登記完了）

民主化を契機に企業進出が急激に進む
ミャンマーに現地法人を設立。インフラ設備や
工場の移設など、伸長する物流需要の取り込みを図る。



◆ベトナム・ドンナイ省に事務所開設（2013年9月業務開始）

日本企業が多数進出するベトナム南部の
ドンナイ省に事務所を開設。サービス向上と
営業展開の拡大により新規ビジネス開拓を図る。



【阪急阪神エクスプレスのグローバルネットワーク】

拠点数：国内32／海外100



(単位：百万円)

	2013年度2Q累計	2012年度2Q累計	比較増減	増減率
営業収益	31,277	31,513	△236	△0.7%
営業利益	233	△242	+476	—

高知新阪急ホテル等から撤退したことにより、減収となるものの、宿泊部門の需要が前年から回復したため黒字転換

連結損益比較表(経常利益内訳)

(単位：百万円)

科 目	2013年度2Q累計	2012年度2Q累計	比較増減
営業利益	61,608	54,731	+6,876
営業外収益	4,257	4,506	△249
うち、持分法による投資利益	(2,243)	(2,831)	(△588)
営業外費用	9,176	10,386	△1,210
うち、支払利息	(8,500)	(9,626)	(△1,126)
経常利益	56,689	48,851	+7,838

連結損益比較表(特別利益内訳)

(単位：百万円)

科 目	2013年度2Q累計	2012年度2Q累計	比較増減
特別損益	+7,582	△3,517	+11,099
特別利益	8,927	309	+8,617
固定資産売却益	8,175	55	+8,120
工事負担金等受入額	428	191	+236
その他	324	62	+261

阪急西宮ガーデンズの一部持分を売却 など

連結損益比較表(特別損失内訳)

(単位：百万円)

科 目	2013年度2Q累計	2012年度2Q累計	比較増減
特別損失	1,345	3,827	△2,481
固定資産売却損	20	55	△35
固定資産圧縮損	268	183	+84
固定資産除却損	45	169	△124
減損損失	405	756	△351
退職給付費用	326	—	+326
事業整理損失引当金繰入額	—	2,135	△2,135
その他	278	525	△246

高知新阪急ホテルの譲渡

連結損益比較表(当期純利益)

(単位：百万円)

科 目	2013年度2Q累計	2012年度2Q累計	比較増減
税金等調整前四半期純利益	64,271	45,334	+18,937
法人税等合計	23,980	16,590	+7,390
法人税、住民税及び事業税	(17,960)	(7,546)	(+10,413)
法人税等調整額	(6,020)	(9,043)	(△3,023)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,291	28,744	+11,547
少数株主利益	645	570	+74
四半期純利益	39,646	28,173	+11,472

連結貸借対照表(資産)

(単位：百万円)

科 目	2013年度2Q末	2012年度末	比較増減	備 考
(資産の部)				
流動資産	250,803	274,773	△23,969	受取手形及び売掛金 △8,842 販売土地及び建物 △7,961
固定資産	2,017,074	2,006,234	+10,840	投資有価証券 +9,035
資産合計	2,267,878	2,281,007	△13,129	

連結貸借対照表(負債／純資産)

(単位：百万円)

科 目	2013年度2Q末	2012年度末	比較増減	備 考
(負債の部)				
流動負債	540,254	578,140	△37,885	
固定負債	1,113,358	1,129,712	△16,354	
負債合計	1,653,613	1,707,853	△54,240	
(純資産の部)				
株主資本	585,700	552,400	+33,300	四半期純利益39,646 一支払配当6,333 など
その他の包括利益累計額	14,017	6,999	+7,018	その他有価証券評価差額金+6,706 など
新株予約権	208	112	+96	
少数株主持分	14,337	13,642	+695	
純資産合計	614,264	573,154	+41,110	
負債純資産合計	2,267,878	2,281,007	△13,129	

	2013年度2Q末	2012年度末	比較増減
借入金	942,072	991,983	△49,911
社債	122,000	122,000	—
リース債務	11,968	12,649	△681
連結有利子負債	1,076,040	1,126,633	△50,592

営業キャッシュ・フローを有利子負債の返済に充当したことによる減少 など

	年間配当金		
	中間配当	期末配当	合計
2013年度	2.5 円	2.5 円 (予想)	5.0 円 (予想)
2012年度	— 円	5.0 円	5.0 円

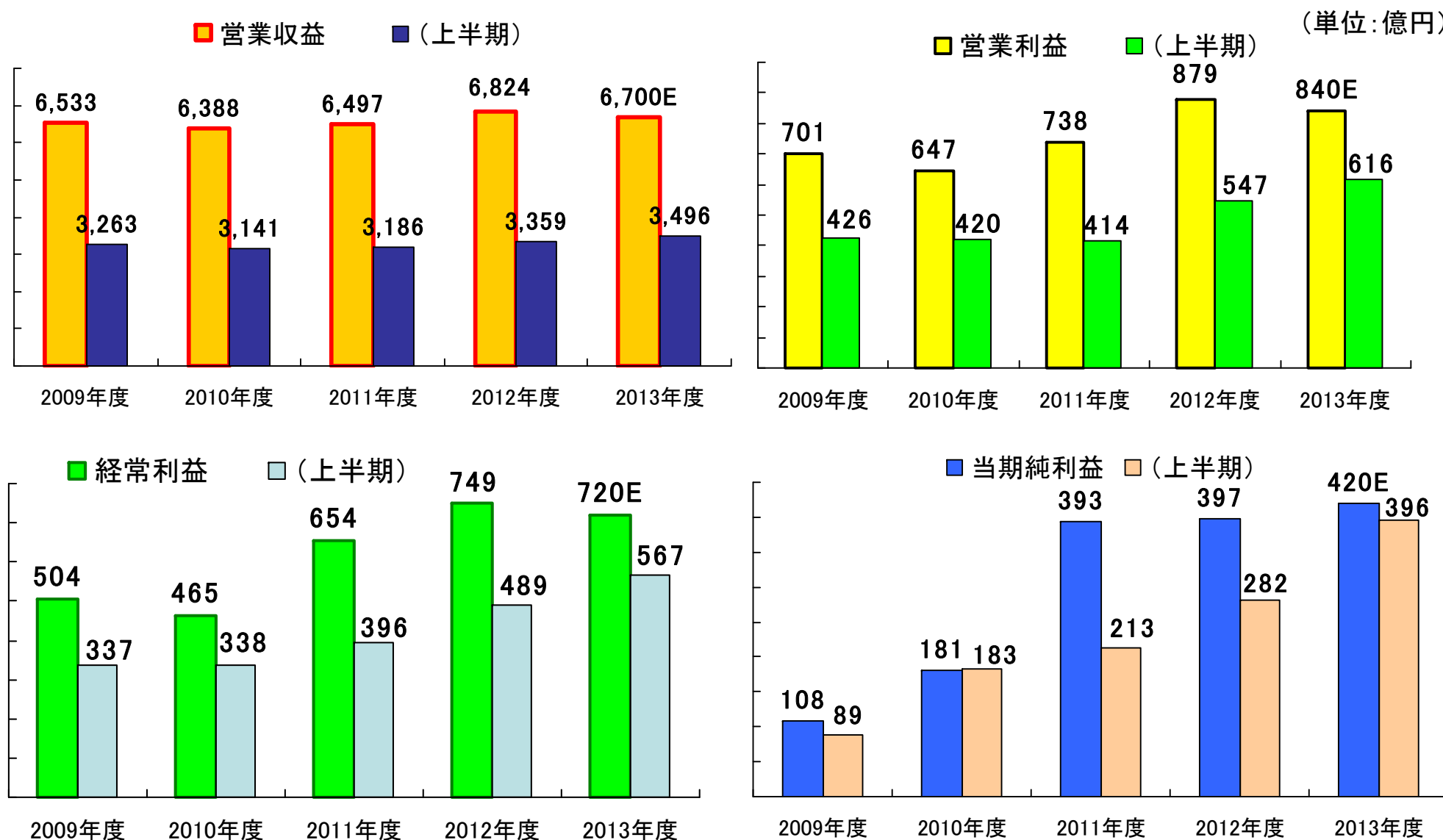
当期より再開

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2013年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,366	51,854	+16,512
うち、減価償却費	26,676	26,355	+320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,308	△25,097	+9,789
うち、固定資産の取得による支出	△56,173	△38,156	△18,016
うち、固定資産の売却による収入	20,013	1,645	+18,368
うち、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	3,285	—	+3,285
うち、工事負担金等受入による収入	12,700	10,887	+1,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,706	△28,948	△28,758
うち、短期借入金の純増減額	△14,394	8,901	△23,295
うち、長期借入れによる収入	26,200	40,520	△14,320
うち、長期借入金の返済による支出	△61,716	△55,755	△5,961
うち、社債の償還による支出	—	△35,010	+35,010
うち、コマーシャル・ペーパーの増減額	—	20,000	△20,000
うち、配当金の支払額	△6,333	△6,334	+0
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,288	200	+1,088
現金及び現金同等物の増減額	△3,358	△1,990	△1,368
現金及び現金同等物の期首残高	25,581	23,572	+2,008
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	755	1,191	△435
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,978	22,773	+205

【ご参考】営業収益と利益の推移



※E＝予想値（2013年度の通期の数値は予想値）

Ⅱ. 参考資料

都市交通事業	
鉄道	阪急電鉄 阪神電気鉄道 能勢電鉄 北大阪急行電鉄 北神急行電鉄 神戸高速鉄道 阪急阪神レールウェイ・テクノロジー 阪急阪神電気システム 阪急レールウェイサービス
自動車	阪急バス 阪神バス 阪急観光バス 阪急田園バス 大阪空港交通 阪急タクシー 阪神タクシー 阪急阪神エムテック ニッポンレンタカー阪急 阪急ドライビングスクール服部緑地 ハックス阪神
流通	阪急リテールズ いいなダイニング
広告	阪急アドエージェンシー
その他	アルナ車両 阪急設計コンサルタント 阪神ステーションネット

不動産事業	
不動産賃貸・ 不動産分譲	阪急電鉄 阪神電気鉄道 阪急不動産 阪神不動産 大阪ダイヤモンド地下街
その他	阪急阪神ビルマネジメント 阪急阪神ハイセキュリティサービス 阪急阪神テクノサービス 阪急阪神クリーンサービス 阪急リート投信 阪急インバストメント・パートナーズ
エンタテインメント・コミュニケーション事業	
スポーツ	阪神電気鉄道 阪神タイガース 阪神コンテンツリンク ウエルネス阪神
ステージ	阪急電鉄 宝塚クリエイティブアーツ 宝塚舞台 阪急コミュニケーションズ 梅田芸術劇場
コミュニケーション メディアその他	ベイ・コミュニケーションズ 阪神ケーブルエンジニアリング アイテック阪急阪神 システム技研 阪急アミューズメントサービス 阪神総合レジャー 六甲摩耶鉄道 ユミルリンク 姫路ケーブルテレビ アールワークス

旅行事業	
旅行	阪急交通社 阪急阪神ビジネストラベル 阪急トラベルサポート
国際輸送事業	
国際輸送	阪急阪神エクスプレス 阪急阪神ロジパートナーズ HANKYU HANSHIN EXPRESS (USA, UK, NETHERLANDS, DEUTSCHLAND, HONG KONG, SINGAPORE, THAILAND, PHILIPPINES, MALAYSIA, VIETNAM, SHANGHAI, GUANGZHOU, MYANMAR BEIJING, TAIWAN, KOREA, INDIA, INDONESIAの計18社)
ホテル事業	
ホテル	阪急阪神ホテルズ 阪神ホテルシステムズ 阪急阪神レストランズ 有馬ビューホテル 天橋立ホテル 呉阪急ホテル

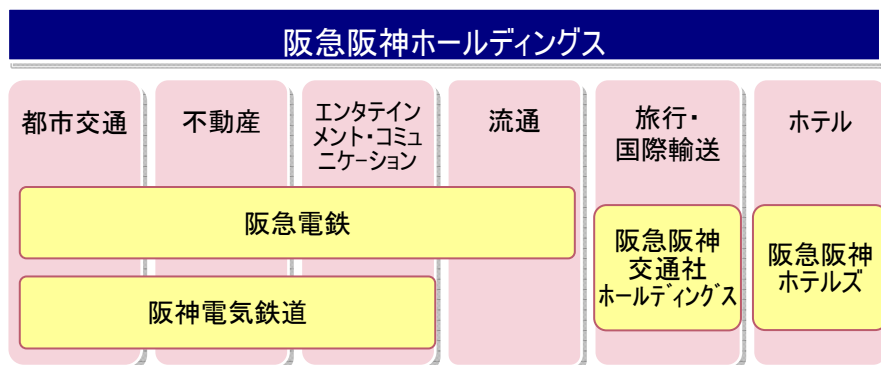
2013年9月30日現在

【凡例】

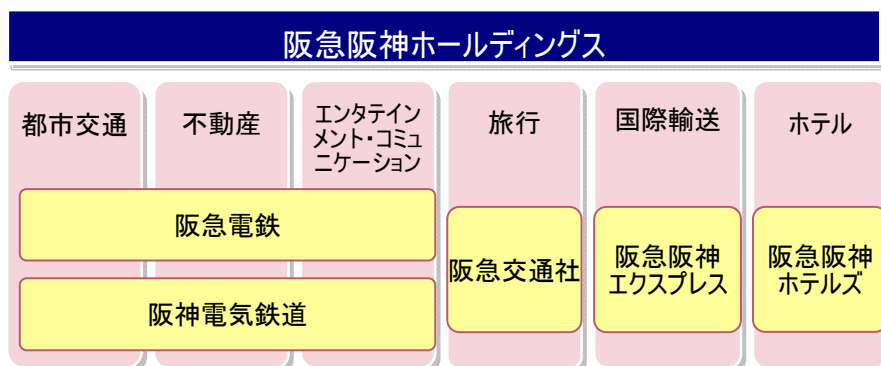
「コア事業」の名称	
「事業別セグメント」 における業種の名称	連結子会社の名称(「コア事業」として 管理している会社のみ記載)

運営体制

【2013年3月31日まで】・・・6コア事業4中核会社体制



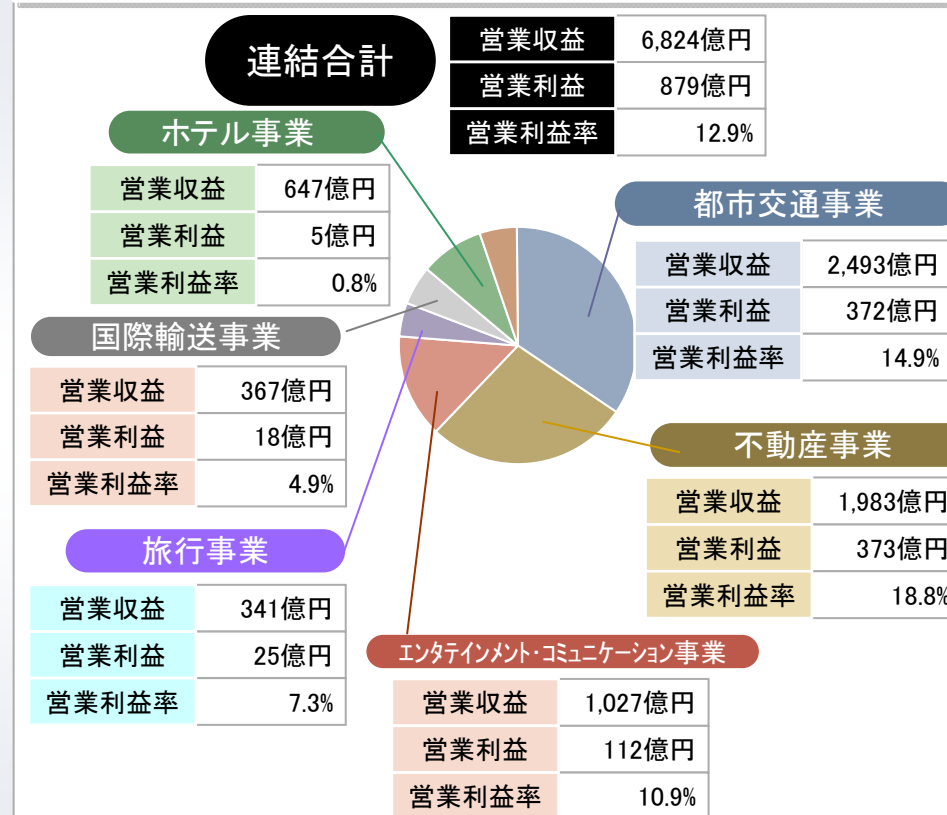
【2013年4月1日以降】・・・6コア事業5中核会社体制



収益構造

- 都市交通事業、不動産事業の2事業で
営業収益の約6割、営業利益の約8割を占める

営業収益構成(2012年度連結ベース)



※ セグメント別の内訳は、新セグメントの区分に基づき、2012年度実績を組み替えた数値である。

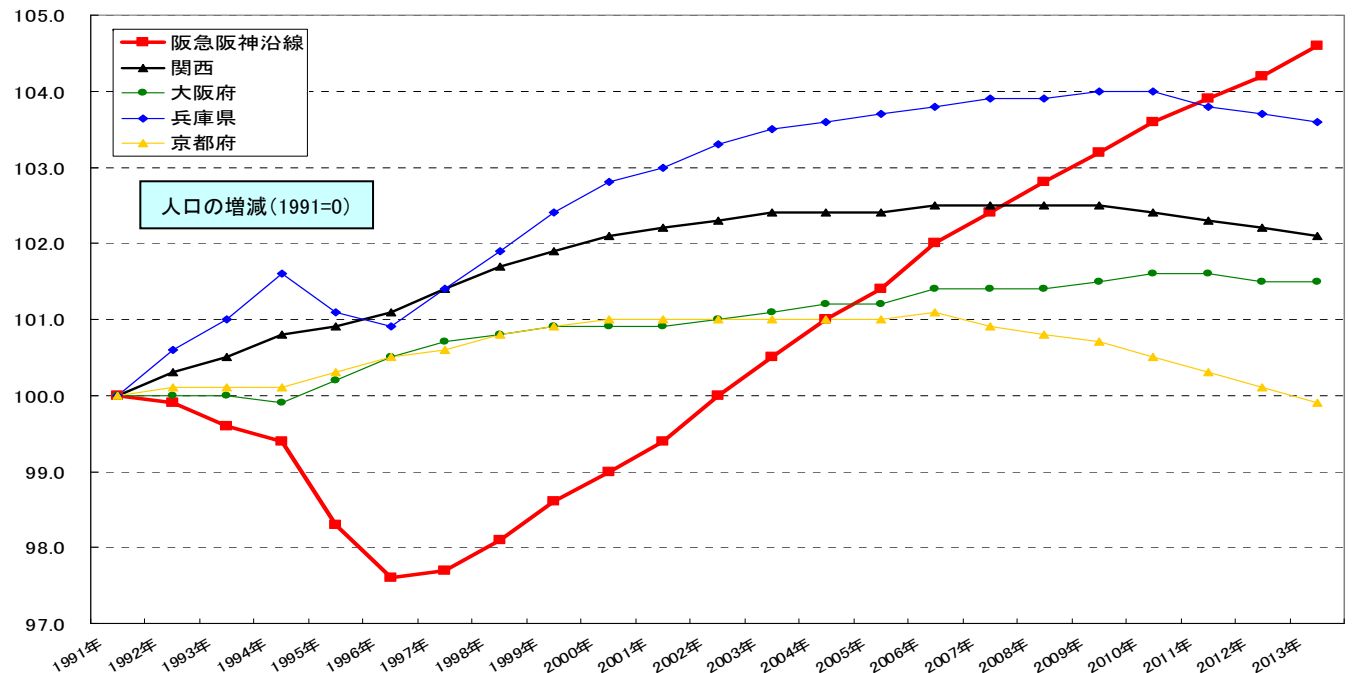
営業路線と主要プロジェクト



人口推移

出所)地域経済要覧(東洋経済)より、
住民基本台帳人口、2013年3月末

	面積(km ²)	人口(千人)
阪急・阪神沿線	1,311	5,531
大阪府(沿線)	446	2,602
兵庫県(沿線)	466	2,266
京都府(沿線)	398	663
阪急・阪神沿線外	26,035	15,045
大阪府(沿線外)	1,455	6,072
兵庫県(沿線外)	7,930	3,299
京都府(沿線外)	4,215	1,873
滋賀県	4,017	1,395
奈良県	3,691	1,395
和歌山県	4,726	1,011
合 計	27,346	20,576



住んでみたい街アンケート(関西圏)

出所)Major7(住友不動産他7社)による調査(2013年9月26日)

順位	地名	(所在)
1	西宮	(兵庫県西宮市)
2	芦屋	(兵庫県芦屋市)
3	夙川	(兵庫県西宮市)
4	梅田	(大阪府大阪市)
5	神戸	(兵庫県神戸市)
6	岡本	(兵庫県神戸市)
7	京都	(京都府京都市)
8	三宮	(兵庫県神戸市)
9	千里中央	(大阪府豊中市)
10	高槻	(大阪府高槻市)

順位	地名	(所在)
10	御影	(兵庫県神戸市)
12	難波	(大阪府大阪市)
12	宝塚	(兵庫県宝塚市)
14	天王寺	(大阪府大阪市)
15	豊中	(大阪府豊中市)
16	神戸市	(兵庫県神戸市)
17	茨木	(大阪府茨木市)
18	福島	(大阪府大阪市)
19	阿倍野	(大阪府大阪市)
20	元町	(兵庫県神戸市)

阪急・阪神沿線 : 阪急電鉄、阪神電気鉄道の駅のある次の地域とする(第2種鉄道事業を含む)
 大阪府 : 大阪市(24区のうち福島区、此花区、西区、浪速区、西淀川区、東淀川区、淀川区、北区、中央区)、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町
 兵庫県 : 神戸市(9区のうち東灘区、灘区、兵庫区、長田区、中央区)、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市
 京都府 : 京都市(11区のうち中京区、下京区、右京区、西京区)、向日市、長岡京市、大山崎町

ランキング上位エリアは14位の天王寺・19位の阿倍野を除き
 全て阪急・阪神沿線である

関西民鉄各社の概要

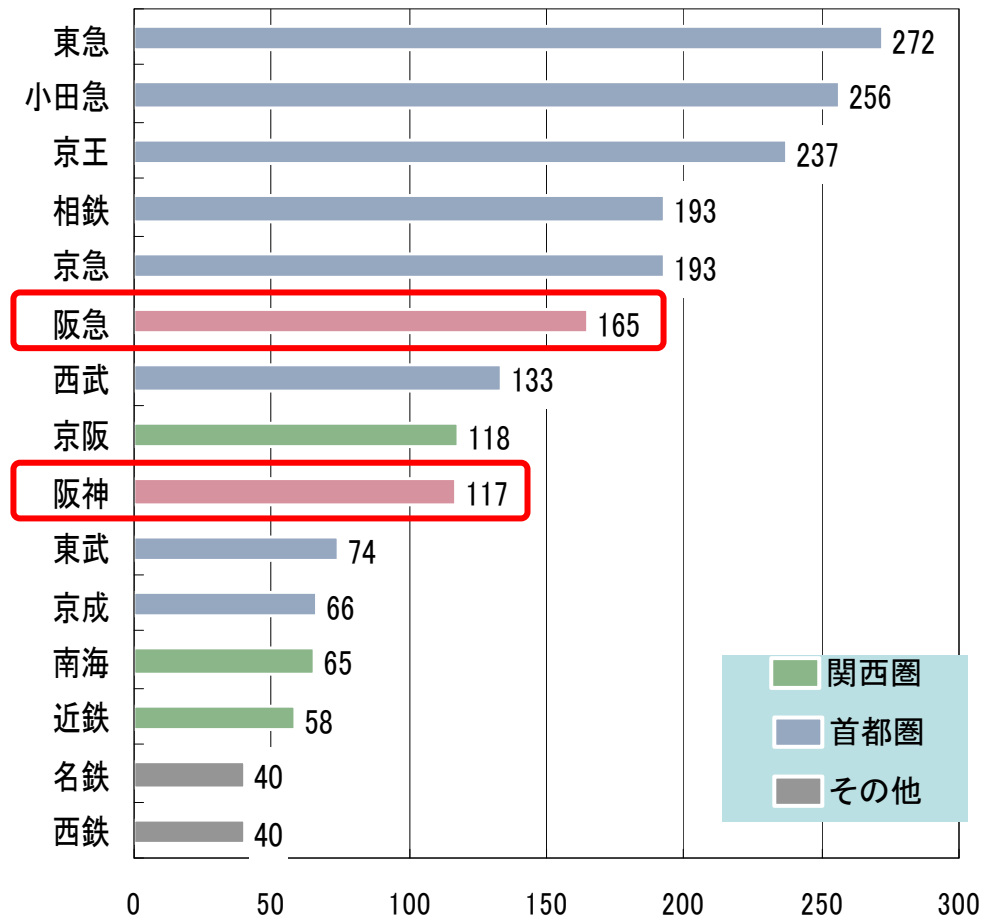
* 相互乗入れによる他社との共同管理駅を除く

	営業 キロ	輸送人員 (1日平均)	総駅数 *	乗降者数 が1日 5,000人 未満の 駅数①*	総駅数に ①が 占める 比率 *
近鉄	508.1km	1,548千人	294駅	179駅	61%
阪急	143.6km	1,686千人	89駅	7駅	8%
南海	154.8km	617千人	100駅	52駅	52%
京阪	91.1km	762千人	89駅	34駅	38%
阪神	48.9km	606千人	51駅	9駅	18%

出所)国土交通省ホームページより 2013年3月末現在、
社団法人日本民営鉄道協会「大手民鉄の素顔」より
2013年3月末現在(第2種鉄道事業を含む)

輸送密度(1日平均旅客輸送人員/営業km)

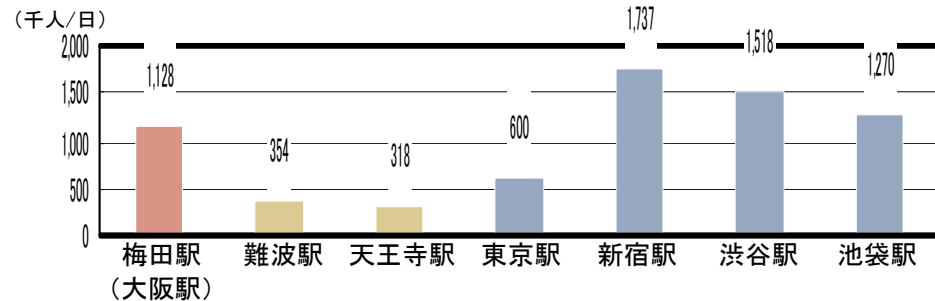
千人/日



出所)社団法人日本民営鉄道協会「大手民鉄の素顔」より
2013年3月末現在(第2種鉄道事業を含む)

駅乗車人員

出所) 都市交通年報平成23年版(運輸政策研究機構)を参考



梅田(大阪): 大阪市交通局(西梅田・東梅田を含む)、JR西日本、阪急、阪神

難波: 近鉄、南海、大阪市交通局

天王寺: JR西日本、近鉄(阿倍野橋)、阪堺、大阪市交通局

東京: JR東日本、東京地下鉄

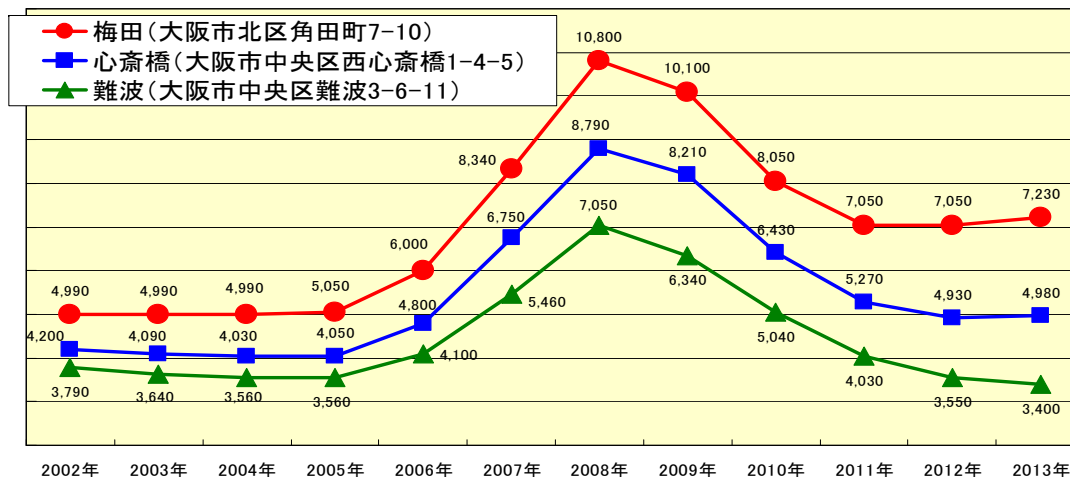
新宿: JR東日本、京王、小田急、東京都交通局、東京地下鉄、西武

渋谷: 東急、JR東日本、東京地下鉄、京王

池袋: JR東日本、東武、西武、東京地下鉄

大阪の主要商業エリアの地価の推移

(千円/㎡)(公示地価)



主な商業施設の売場面積

●当社関連施設

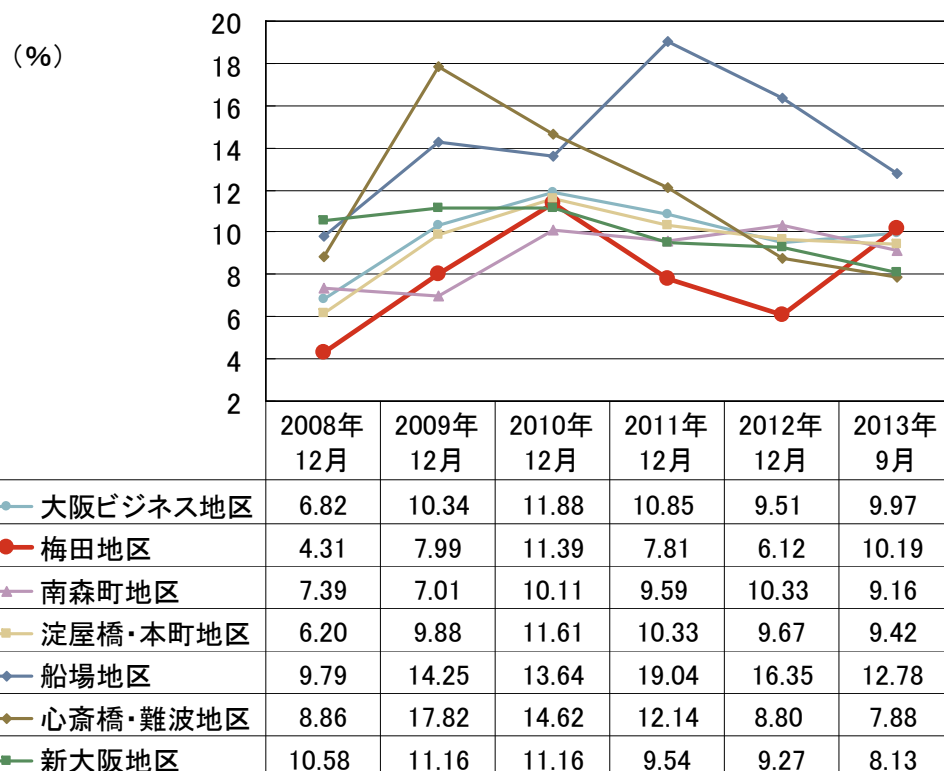
阪急百貨店 (阪急うめだ本店)	約80,000㎡
阪神百貨店	約53,000㎡
グランフロント大阪	約44,000㎡
阪急三番街	約40,000㎡
HEP FIVE	約23,000㎡
HEP NAVIO	約21,000㎡
ハービスPLAZA ENT	約21,000㎡
NU chayamachi	約12,000㎡
ハービスPLAZA	約9,000㎡
ディアモール大阪	約7,200㎡
NU chayamachi プラス	約3,000㎡

●当社以外の施設

大丸梅田店	約64,000㎡
ヨドバシカメラ [ヨドバシ梅田全館]	約50,000㎡
JR大阪三越伊勢丹	約50,000㎡
LUCUA(ルクア)	約20,000㎡
ヒルトンプラザイースト	約11,000㎡
ヒルトンプラザウエスト	約8,000㎡
ホワイティうめだ	約14,000㎡
イーマ	約8,000㎡
梅田オーパ	約3,200㎡

出所) 当社データ、各社ホームページ、
全国大型小売店総覧(株)東洋経済新報社)、日本ショッピングセンター協会資料

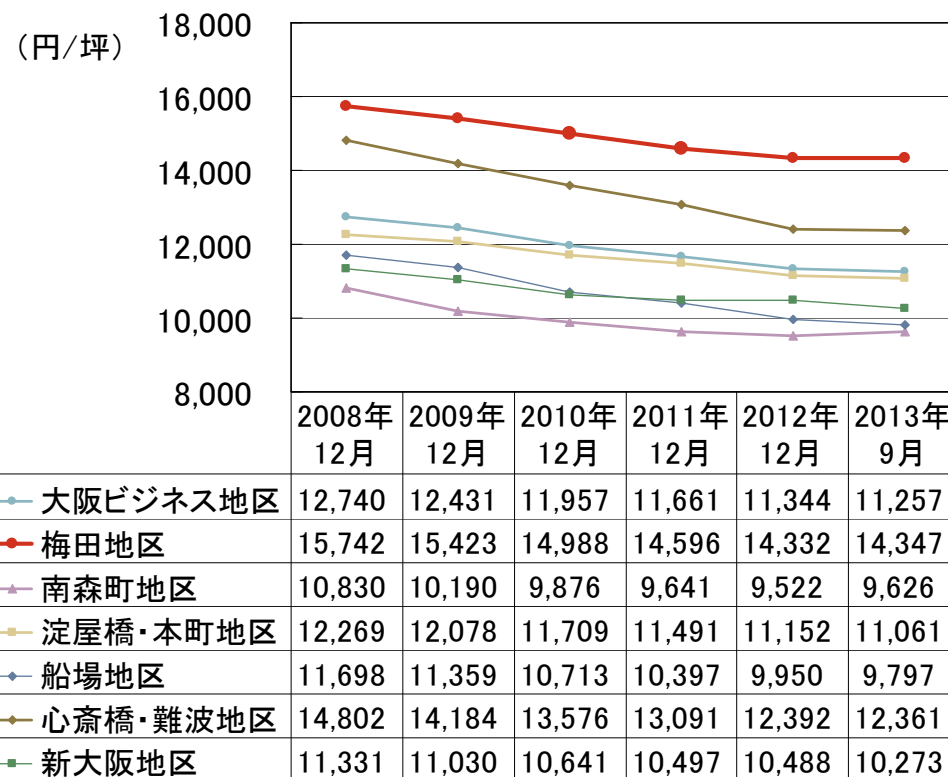
大阪ビジネス地区 主要6地区別
平均空室率の推移



(ご参考)

東京都心5区平均	4.72	8.09	8.91	9.01	8.67	7.90
----------	------	------	------	------	------	------

大阪ビジネス地区 主要6地区別
平均賃料の推移



(ご参考)

東京都心5区平均	22,186	18,978	17,585	16,932	16,572	16,230
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

当グループ主要賃貸施設

(2013年3月現在)

ビル名	賃貸可能面積 ※1	概要	竣工・完成時期
梅田阪急ビル (阪急百貨店・オフィスタワー)	213,147㎡	地下2階地上41階建	2012年11月
大阪神ビルディング (阪神百貨店)	98,578㎡	地下6階地上11階建	1963年 6月
梅田阪神第1ビルディング (ハービスOSAKA)	81,635㎡	地下5階地上40階建	1997年 3月
梅田阪神第2ビルディング (ハービスENT)	54,787㎡	地下4階地上28階建	2004年11月
阪急茶屋町ビル (ちやまちアプローズ)	52,074㎡	地下3階地上34階建	1992年11月
阪急三番街	40,982㎡	地下2階地上5階建 (一部地下4階建)	1969年11月
阪急グランドビル	36,023㎡	地下3階地上32階建	1977年 8月
グランフロント大阪 ※2	28,120㎡	地下3階地上38階建	2013年3月
阪急ターミナルビル	26,615㎡	地下4階地上18階建	1972年 3月
阪急ファイブビル ※2 (HEP FIVE)	19,722㎡	地下3階地上10階建	1998年11月
ナビオ阪急 (HEP NAVIO)	15,711㎡	地下2階地上10階建	1980年10月
NU chayamachi ※2	11,448㎡	地下2階地上9階建	2005年10月
梅田センタービル	10,191㎡	地下2階地上32階建	1987年 3月
NU chayamachiプラス ※3	3,021㎡	地下1階地上3階建	2011年 4月

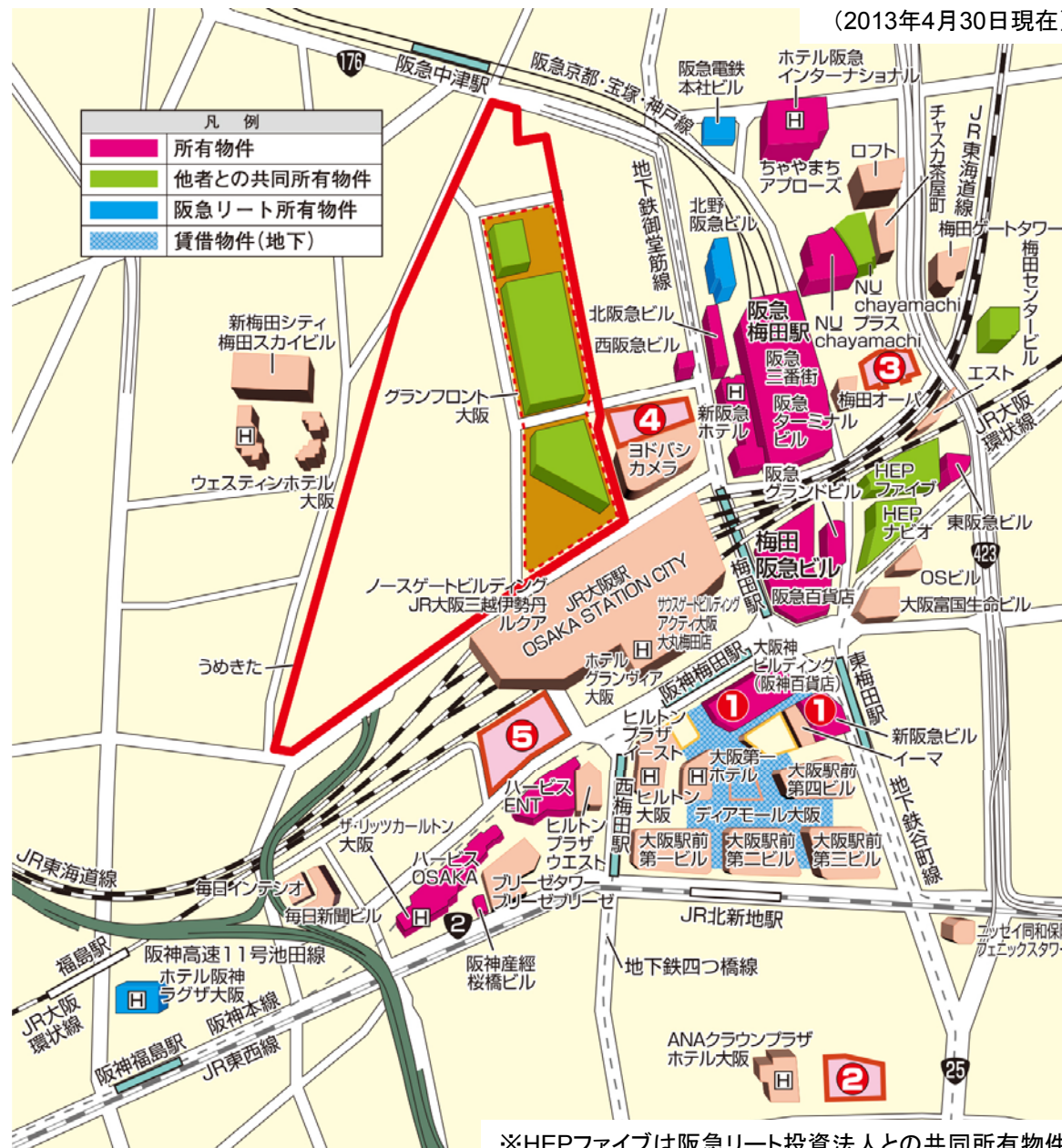
※1 賃貸可能面積は当グループ所有分を記載 ※2 2013年4月現在

※3 賃貸可能面積は全体面積を記載

梅田地区周辺での開発動向

赤字=当グループが関与

- ① 梅田1丁目1番地計画
- ② 新・新ダイビル(仮称)ーダイビル(株)
- ③ 大阪市茶屋町地区土地区画整備事業ーヤンマー(株)、(学)常翔学園
- ④ ヨドバシ梅田2期計画ー(株)ヨドバシカメラ
- ⑤ 梅田3丁目計画(仮称)ー日本郵便(株)、大阪ターミナルビル(株)



※HEPファイブは阪急リート投資法人との共同所有物件



梅田阪急ビル(建替)

- 総投資額 : 約600億円
- 主要用途 : 百貨店、オフィス
- 高さ : 約187m
- 延床面積 : 約254,000㎡
- 容積率 : 1800%



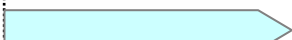
グランフロント大阪(新設)

- 総投資額 : 約510億円 ※当社グループ分のみ
(設備投資額のみ。販売土地建物投資を除く。)
- 主要用途 : オフィス、商業施設、ホテル、
ナレッジキャピタル、分譲住宅
- 高さ : 約154m～約180m
- 延床面積 : 約556,700㎡
- 容積率 : 南館1600%、北館・オーナーズタワー1150%



梅田1丁目1番地計画(建替)

- 総投資額 : 未定
- 主要用途 : 百貨店、オフィス、ホール
- 高さ : 約190m(予定)
- 延床面積 : 約257,000㎡(予定)
- 容積率 : 2000%(予定)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013 ~ 2023	【年度】
梅田阪急ビル									2012年11月 グランドオープン	
					▶ 2009年9月 百貨店Ⅰ期棟開業 ▶ 2010年5月 オフィスタワー開業			▶ 2012年10月 百貨店Ⅱ期棟開業		
グランフロント大阪									2013年4月 まちびらき	
梅田1丁目1番地計画										2023年 竣工(予定)

ホテル一覽

※ 直営ホテル・・・阪急阪神ホールディングスの連結決算上、宿泊・宴会・飲食の売上を営業収益に計上しているホテル
※ 下記のホテル数・客室数には、ザ・リッツ・カールトン大阪(大阪市北区 292室)は含まない

直営ホテル(阪急阪神ホテルズ)	17ホテル	4,232室	} 50ホテル 10,445室
その他(FC等)	33ホテル	6,213室	



阪急阪神第一ホテルグループ

第一ホテル東京
第一ホテルアネックス
第一ホテル東京シーフォート
吉祥寺第一ホテル
レム日比谷
レム秋葉原
ホテル阪急インターナショナル
大阪新阪急ホテル
新阪急ホテルアネックス
ホテル阪神
レム新大阪
千里阪急ホテル
ホテル阪急エキスポパーク
宝塚ホテル
六甲山ホテル
京都新阪急ホテル
レム鹿児島

アワーズイン阪急
銀座クレストン
第一ホテル両国
第一イン池袋
第一イン湘南
万代シルバーホテル
富山第一ホテル
第一イン新湊
ホテルコンコルド浜松
東京第一ホテル錦
ホテルポストンブラザ草津
ホテルロイヤルヒル福知山&スパ
天橋立ホテル
大阪第一ホテル
梅田OSホテル
ノホテル甲子園
有馬ビューホテル うらら
真庭リバーサイドホテル
呉阪急ホテル
東京第一ホテル下関
高松国際ホテル
ホテルクレメント徳島
ザ クラウンパレス新阪急高知
東京第一ホテル松山

今治国際ホテル
タカクラホテル福岡
東京第一ホテルオキナワ格蘭メルリゾート
東京第一ホテル那覇シティリゾート

ホテル所在地

